

アグリサイエンスバレー事業 お知らせ版



道の駅イメージパース

現時点でのイメージです。変更の可能性があります。



道の駅の指定管理者が決まりました。

令和5年3月オープンを目指し整備を進めている道の駅の指定管理者に「株式会社TTC」を指定しました。期間は令和4年4月1日から令和10年3月31日までの6年間です。（道の駅がオープンするまでの1年間は、道の駅で販売する農産物や物産等の出荷希望者の募集を実施するなど、開業に向けた準備を市と共に行います。）

※指定管理者制度を導入するメリット：企業の持つ管理運営ノウハウにより、施設の維持管理経費の節減や収益の向上が期待できます。



「株式会社TTC」ってどんな会社？

株式会社TTCは、「日本全国の地域を活性化し、日本を元気にする」ことをビジョンに掲げ、店舗企画、地域ブランド商品開発、メニュー企画に取り組んでいます。木更津や南足柄などの道の駅等(10ヶ所)、熱海プリン等のスイーツ専門店(20店舗)、熱海おさかな食堂等の飲食店(25店舗)など様々な業態で地域に根差した事業を展開しています。



株式会社TTCの主な道の駅の指定管理実績

- ・道の駅木更津 うまくたの里
- ・道の駅足柄・金太郎のふるさと
(神奈川県南足柄市) 令和2年6月開業
- ・道の駅『くるくる なんと』(徳島県鳴門市)
令和4年春開業予定
その他多数の管理運営施設あり



指定管理者の主な提案の特徴

- ・地産地消の推進、地場産業を盛りあげる
- ・常総市のPR・地域商品、飲食メニューの開発、常総のブランドづくり
- ・情報発信・イベント機能の充実
- ・防災拠点の整備と地域コミュニティによる防災体制の構築



今後の道の駅に関する情報は、随時広報やお知らせ版、HPで発信をしていきます！

動画もみてね😊→



全国から「アグリサイエンスバレー事業」が注目されています！

視察受入状況

当事業は、民間の活力を活かした事業推進体制や完成後も地域にメリットを生み出す先進性が評価され、これまでに全国70の地方公共団体、議会及び大学等から延べ500人の視察を受けています。

今年の10月に市長自らが視察にみえた九州の市では、視察直後からインターチェンジ周辺まちづくり構想の策定作業を始めるなど、当事業が他自治体のまちづくりに非常に参考になっている事例が多数あります。

企業誘致に向けた積極的な協力体制も参考になりました！



アグリサイエンスバレー事業 年度別視察受入状況

年度	受入件数		受入人数
	県内から	県外から	
H26	－	1	2
H27	1	－	6
H28	2	2	11
H29	1	6	44
H30	2	4	31
R1	4	9	113
R2	6	10	64
R3	10	12	226
計	26	44	497

まちびらきに向けて

令和3年度末に都市エリアの土地造成工事が終わり、エリア全体の基盤整備が完了します。道の駅整備に関しては、基本設計・実施設計が令和3年度に完了し、令和4年度はいよいよ建築工事が始まります。

また来年度は、各事業者が建築工事を進めていき、道の駅の開業も含めて令和4年度末にエリア全体がおおむね稼働状態となります。



アグリサイエンスバレー事業 現地見学会を開催しました。



当事業のスケール感や工事の進捗状況を知っていただくため、11月27日(土)に「じょうそう観光地域づくりLabo」の参加者を対象とした現地見学会を開催しました。今後の見学会の開催予定は、随時広報紙やHPでお知らせします。

◆問い合わせ＝☎アグリサイエンスバレー整備課(内線2810)